


揖斐川水源地域を みんなで守り、活かしませんか

～「揖斐川水源地域ビジョン(仮称)中間とりまとめ」の概要～



平成18年4月

揖斐川水源地域ビジョン策定会員

An aerial photograph of a large dam and reservoir. The dam is a concrete structure with a spillway, situated in a valley. The reservoir is a large body of water that fills the valley and extends into the surrounding mountains. The landscape is lush green with dense forests. In the background, there are more mountains under a clear sky. The text is overlaid on the image in white.

旧徳山村の人々が守り育ててきた
徳山ダム上流域の豊かな自然環境 —
これを、水源地だけでなく、
ダムの恩恵を受ける広域の人々にとっての
貴重な財産と捉えました

このような流域全体の貴重な財産を
「みんな」で守り、育て、
自然そのものや歴史から学び、
多くの人々が行き交い、
将来に向けてみんなで活かすことができれば、
と考えています

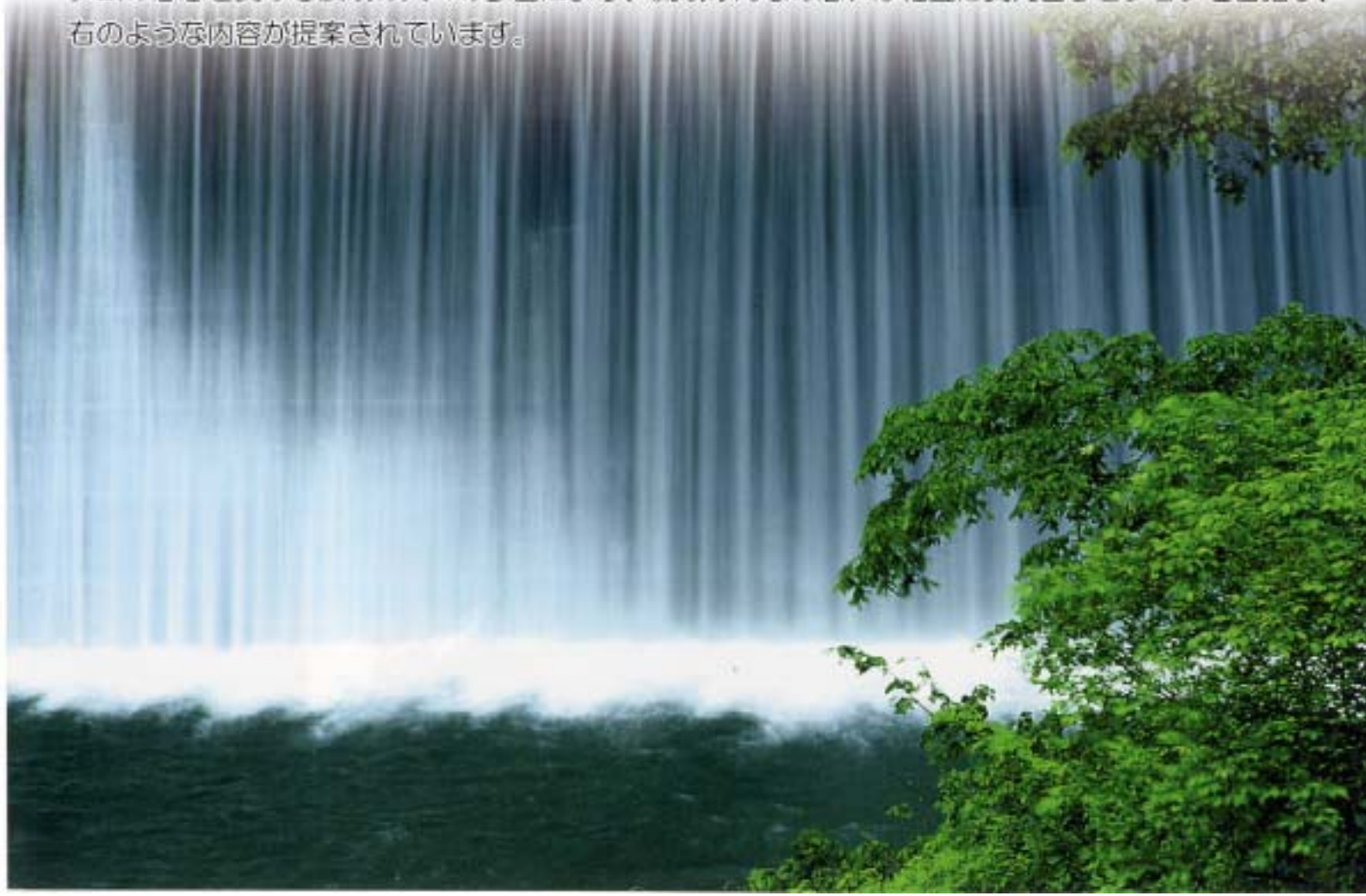
ビジョン策定会議では

徳山ダムは、今年の秋から試験湛水（試験的にダムに水を貯めて、ダムや貯水池の状況を確認し、完成に備えること）を開始し、平成20年3月には完成を迎える予定となっています。そこで、徳山ダム上流域を核とする水源地域の「保全」と「利活用」をどのように進めていくのか検討するため、学識経験者、産業や行政の委員等からなる「揖斐川水源地域ビジョン策定会議」を昨年10月に設立し、5回の会議と3回の小会議を開催してきました。第5回会議では、これまでの会議で議論してきた内容をいったん整理した「中間とりまとめ」を行いました。

「中間とりまとめ」では

- ①徳山ダムは、完成すれば、「揖斐の防人^{さきもり}」（治水）「中部の水瓶」（利水）として機能する貯水量日本一のダムとなり、中部圏に広がる流域にとって、「生命」「暮らし」「産業」を支える骨格となること
- ②徳山ダム上流域は、ダム建設過程での環境保全対策に加え、旧徳山村の人々が守り育ててきた森林が、日本一の規模の山林公有地化により、豊かな自然環境をもつ水源林として保全されることになること

を踏まえ、ダムが担う新たな機能と旧徳山村の歴史と生活が培ってきた「日本一の水と森」を、流域全体の財産として捉え、旧徳山村の人々への感謝の気持ちをもって、水源地域だけでなく、徳山ダムの恩恵を受ける広域の人々の参画により、流域みんなの思いが相互に支え合うビジョンを目指し、右のような内容が提案されています。



日本のどまん中を支える日本一の水と森が織りなす流域文化の創造 — みんなで守り、学び、やすく、日本一元気な流域を目指して —

目標像を実現するための3つの基本方針

揖斐の防人・中部の水瓶として
の上流域の環境を、みんなで守り
育てる

自然の叡智や風土など水源地域
そのものを「水と森の自然博物
館」として、学び、やすく

流域ぐるみで協働し、流域文化
の創造と展開を図る

基本方針を踏まえた5つの取組方策と主な方向

1 日本のどまん中を支える 大切な自然環境の保全

- 流域及び水源としての水環境の保全とともに、森林の保全、管理等を推進
- 野生動物の自然生態系の保全及び保護を踏まえた生態系の回復を形成



2 日本一の水と森に学び、 やすく場としての活用

- 総合学習、生涯学習、研修の場の提供や、自然環境に関わる調査・研究の展開
- 水辺空間や森林空間を活かし、健康とやすらぎのための自然環境を提供



3 広域で継続的な 交流・連携の推進

- NPOや一般住民等が広域的な交流・連携を推進
- 教育・学習の場等として活かす三県一市の上下流連携や、県境を越えた相互交流等の広域連携を推進



4 水源地域の魅力を活用 した産業の振興

- 魅力ある地域づくりや観光拠点のネットワーク形成により、地域の魅力向上と人々が楽しめる場づくりを推進
- 水源地域の特色ある特産品開発、水や森林等を活用した起業等の展開



5 みんなが支え、みんなを 支えるための取組の推進

- 徳山ダム及び水源地域の役割の情報発信、地域の魅力のアピール、人材の育成等を推進
- 自然環境の保全、学習、健康とやすらぎ、交流等の諸活動のための拠点づくり及び諸活動を支える仕組みづくりを推進



目標像に向けたビジョンの推進

目標像実現のため、以下の3つの推進方針に基づきビジョンを推進

- ①徳山ダムに係る上下流の関係者が連携しながら取り組む
- ②地域住民グループやNPO法人等の推進の担い手を育成する
- ③ダム事業の完了前から、実施可能なものから順次、ビジョンの実現に向けた取組を進める

ビジョン策定へのフィードバックのため、また、新たな取組を生み出すため、ビジョン策定に向けた取組の「試行」を進めるとともに、推進準備会による推進体制の整備や、水源地域だけでなく、広く下流域を含め、ビジョンの担い手の育成を推進

ビジョン策定に向けて

「揖斐川水源地域ビジョン策定会議」では、各界・各層の意見等をいただきながら、ビジョン策定に向けた「試行」による取組や推進体制の検証、取組方策の具体化等の検討を行い、平成18年度中にビジョンを策定することとしています。

また、策定会議の事務局といたしましても、より実効性の高いビジョンを効果的・効率的に推進していくことが重要であると考えており、三県一市（愛知県、三重県、岐阜県及び名古屋市）の徳山ダムの恩恵を受ける広域の皆様、揖斐川水源地域の目標像実現に向け、いろいろな方法、いろいろな取組を通じて、実際にビジョン推進に参画いただくことを期待しています。





揖斐川水源地域ビジョン策定会議事務局

◇国土交通省中部地方整備局

◇岐阜県

◇揖斐川町

◇独立行政法人水資源機構中部支社

〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸1丁目2番1号

TEL.052(231-7541)(代)

ホームページ:<http://www.water.go.jp/chubu/chubu/index.html>

*表紙の写真4点及び『「中間とりまとめ」では』と『ビジョン策定に向けて』
の写真計6点の使用については、写真家の竹中好明氏にご協力いただきました。